

事務事業名	《H24新規》すももサミット開催準備事業		所属部局	農林商工部		単位番号	2012- 999007						
	☐ 実施計画事業		所属課室	観光商工課		課長名	朽原伸幸						
			所属担当	観光担当		担当者名	三井孝司						
基本政策	基本計画体系	Ⅱ	にぎわいと活力あふれる都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政 策		09	地域資源を活かした観光の振興		事業区分	01	一般	07	01	03	020	50	
施策		16	観光基盤の整備			☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返（開始年度 24 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠	なし									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市の特産物であるすももを調査研究することにより、すもも産地の市町村相互の交流を深め、すももを通じた個性豊かなまちづくりに寄与することを目的としたすももサミットを開催し観光の振興を図るための準備事業。 この事業はH25年度から南アルプス山麓サマーフェスティバル開催事業へ組み込み継続の見込み。					事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込）							
						項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
						普通旅費		30					
										計		30	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	すももサミット開催に向けて近県特産地での研修及び交流
25年度活動予定	南アルプス山麓サマーフェスティバルにおいてすももサミット開催予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
すもも特産地である自治体	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
すももを特産品とする自治体と交流することにより観光や雇用等の収入源を創造する機会を設けるサミットに参加協力してくれる自治体を開拓し確保する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
ギネス世界記録登録されたすもも(代表・貴陽)を公開する機会であるすももサミットを全国にアピールすることにより、消費者のすもも購買意欲の向上を図り、特産地への観光客数を増加させる。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	ア 研修・交流回数 回
⇒	イ
⇒	ウ
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	ア すもも特産地 市
⇒	イ
⇒	ウ
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	ア すももサミットに参加予定の自治体 市
⇒	イ
⇒	ウ
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
	名称 単位
⇒	ア すももサミット開催の全国アピールの度合 %
⇒	イ

(2) 事業費・指標の推移			単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		30	0	0	0	0	0	
	事業費計 (A)		千円	0	30	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		5						
		延べ業務時間	時間		96						
		人件費計 (B)	千円	0	380	0	0	0	0	0	0
	(A)+(B)		千円	0	410	0	0	0	0	0	0
活動指標		アイウ	回		1.0						
対象指標		アイウ	市		1.0						
成果指標		アイウ	市		5.0						
上位成果指標		アイ	%		100.0						

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	当市で既に参画しているあやめサミットを参考とし、市特産品であるすももを取り上げサミットを開催する準備に取り掛かる。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	新規準備事業であるため、今後はすももサミットを開催することによりすもも産地として全国認知度が上がり、すもも消費者の増加が予測される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	すもも農家を代表とするJAからは、生産数全国第1位のすももを今以上全国へアピールするためのサミットを開催することを要望されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	単年度事業である。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	JAと次年度サミット開催に向けて協議をした。

事務事業名	《H24新規》すももサミット開催準備事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 結びついている ⇒【理由↓】 すももサミットを全国にアピールすることは、地域資源を活かした観光振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 観光の振興を図るため妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 サミットと市イベント事業を連携することにより、すもも特産地である市としてPRを行ない観光振興を図る。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 すもも特産地として全国PRするため市イベント事業に組み込むことで成果が向上する。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) 市イベント事業 ☒ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 市イベント事業に組み込むことでPRできる。 ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市の観光振興に繋がるため。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の観光振興に繋がるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の事業費での執行のため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方、見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の人権費での対応のため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 観光振興事業であるため受益者全体に公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						